

兵庫県但馬水産技術センターだより

貝毒情報(イワガキ) TKD-07-05 号

令和7年9月10日発行

プランクトン及び貝毒検査を9月8日～10日に実施しましたので、その結果をお知らせします。

【概況】

- ・貝毒検査(9/10)の結果、今回検査した地点では麻痺性貝毒は検出されませんでした。
- ・貝毒の原因となるプランクトンも確認されませんでした。

【検査結果】

年月日 (採水・採取)		R7.9.8
地 点 (St.)		諸寄
貝類の毒化状況	麻痺性貝毒[MU/g]	ND
麻痺性貝毒原因プランクトン	アレキサンドリウム カ テ ネ ラ (旧称) <i>Alexandrium catenella</i> (新称 At complex (旧) <i>A. catenella</i>)(細胞/mL)	0(<0.02)
下痢性貝毒原因プランクトン	ディノフィシス フォルティ <i>Dinophysis fortii</i> (細胞/mL)	0(<0.02)
	ディノフィシス アキューミナータ <i>Dinophysis acuminata</i> (細胞/mL)	0(<0.02)

※NDとは検出限界値(2.0 MU/g)未満のことです。※プランクトンは海水を濃縮して検鏡した密度です。



<規制の基準>

可食部の毒量が、
麻痺性貝毒:4 MU/g
下痢性貝毒:0.16mg オクタ酸当量/kg } を超えた場合

<注意が必要なプランクトン密度>

・麻痺性貝毒原因プランクトン(代表的な種)

アレキサンドリウム タマレンセ
(旧称) *Alexandrium tamarense* 5 細胞/mL 以上

アレキサンドリウム カ テ ネ ラ
(旧称) *Alexandrium catenella* 20 細胞/mL 以上

・下痢性貝毒原因プランクトン(代表的な種)

ディノフィシス フォルティ
Dinophysis fortii 50 細胞/mL 以上

※プランクトン密度の単位は細胞/mLと表記。(海水1 mLあたりのプランクトン細胞数)(mL:ミリリットル、1 mLは1 Lの千分の一)
貝毒については関係資料ウェブサイト(<https://www.hyogo-suigi.jp/wp-content/uploads/2020/11/kaidoku.pdf>)をご参照ください。

【今後の情報予定】

- ・今年度の但馬地域における貝毒調査(定期)は本調査をもって終了です。。

§ お問い合わせ先 § 兵庫県立農林水産技術総合センター但馬水産技術センター (担当: 中村 Tel: 0796-36-0395)
兵庫県但馬県民局但馬水産事務所 (担当: 水産課・峰、渡邊 Tel: 0796-36-1153)
ホームページ: <https://www.hyogo-suigi.jp/tajima/>